

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	積極的な情報提供及び意見交換に努めているが、要望を外部者へ表す手段や機会が少ない。	家族の要望や意見をくみ取れるように体制作りを行う。	・意見箱の設置を図り、アンケート等により家族の意見や要望を聞けるように整備する。	6ヶ月
2	40	味噌汁や小鉢等一品からでも良いので、利用者と職員が同じものを食べ、味や香り、思いを共有できる環境を構築することを期待したい。	入居者と同じものを食べる回数を増やしていく。	調理室にも申し入れ、入居者と一品でも同じものを食し、調理方法や味の感想など入居者と共有できる話題でコミュニケーションが今まで以上に図れるよう配慮する。	6ヶ月
3	45	随時、入浴は心がけているものの、入浴日がホーム都合で支援されている。	本人の希望に沿った支援を行っていく。	今までも入居者に合わせた入浴支援を行っていたが、これまで以上に入居者の要望に寄り添った支援を行う。	6ヶ月
4	35	全職員が火災時の避難法を身につけるなどの訓練は重ねているが、地震や水害(台風含む)等に対する訓練がなされていない。	火災だけではなく、地震や水害に備える訓練も行っていく。	防災士に依頼しての地震や水害に対しての訓練、警察署等も含めた地域の方への協力要請ができる体制を整備していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。